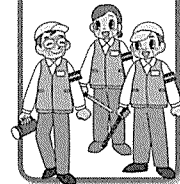


育成センターだより

令和2年度
No. 419

長野市少年育成センター
TEL. 228-8547
FAX. 224-0109

有害環境浄化活動強化月間(2月) 春の安心ネット・新学期一斉行動(2月~5月)

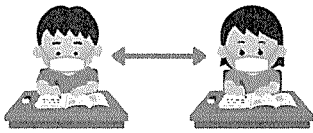


三学期の育成活動

収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの感染拡大でどこも大変です。こんな時だからこそ、共に力を合わせて乗り切っていきたいものです。

年度末は締めくくりの時期、『別れや旅立ち』を控え子供たちは警戒感が緩み不安定になりがちです。見守り励まししながら、家庭、学校、地域が連携をより強めてまいりましょう。

そして、私たち大人から子供たちに明るく笑顔で関わりながら、自立を支える環境の改善、温かな声かけ、非行防止活動に一層努めてまいりましょう。



この友と一緒に遊ぶのもあとわずか

支える環境の改善、温かな声かけ、非行防止活動に一層努めてまいりましょう。

育成活動の重点

★「外出自粛、家にこもりがちな生活を送る子供たちに温かい声かけを」

★「ストレス充満、気持ちも不安定になりがちなこの時に『自覚ある行動を信じて見ているよ』と子供たちにエールを」

★「携帯・スマホの使い方ルール 見直そう 親子で、学級で」

★「機器の新規購入、買い換えの時期 使い方のルールを作り、見直そう 家庭、地域に呼びかけを」

★「寒さが緩む年度末 深夜の外出に 愛の眼差し・声かけを」

★「寒さが緩む三月は体も心も緩む時 遅い時刻の歩き・帰宅の姿に愛の眼差し・温かい声かけを」

★「子供の相談は、受けとめ、寄り添い 語り合い」

★「大人一人一人が子供の相談窓口 相談は受けとめ 寄り添い励まして 未来を語り合いましょ」

「生きづらさを抱えた子供たちへの支援」

長野少年鑑別所
主席専門官 齋藤 敏浩

日頃、関係機関の皆様には当所の運営に御理解・御協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨今の少年鑑別所に入所する少年を見ていますと、入所者が激減したこともさることながら、彼らの質の変化に驚かされています。昔ながらの自己顕示性の高い非行少年は減少法なくなり、夜のコンビニにたむろしているという少年も少なくなりました。これはこれでとても望ましいことです。が、代わりに入所少年の中で一定の割合を占めるようになったのが、生きづらさを抱えた少年たちです。このような少年たちの中には発達の特性を抱え、悪気はないのに行動の統制や対人関係がうまく行かず、周囲から疎外される少年も少なくありません。

かつての非行少年たちが生きやすかったのかと言うと、必ずしもそうではありませんが、かつては暴走族に代表される不良集団という居場所の中で受容感を得ていた者も少なくありませんでした。ところが、最近目にする生きづらさを抱えた少年たちは、周囲から理解や支援を得られず、孤立感や被害感を強め、自分の居場所すら見

出しにくくなっている印象を否めません。

当所は、「法務少年支援センター長野」という名称で、非行や問題行動に関する相談に応じています。相談に来られる方々の中にも、発達の特性による生きづらさを抱えていると思われる方がいらっしゃると思います。相談に来られるからにはその子に周囲を困らせる行動があるのですが、本人に悪気があるとは限りません。自分の意志だけでは衝動を抑えられなかったり、他者の意図や感情を察することが苦手で、相手がなぜ怒っているのかさ理解できなかつたりします。生きづらさの要因は様々ですが、共通して大切なのは、その子の特性を理解し、それに合わせた支援を行うことです。

例えば、野球で打撃は苦手でも足が速ければ代走に起用されますし、サッカーで足技は苦手でもジャンプ力や度胸があればゴールキーパーとして活躍する場合があります。私たちは相談活動を通じて、「本人の特性を生かすこと」を考え、彼らが少しでも生きやすくなるようお手伝いできたらと願っています。

コロナ禍の中、ステイホームで虐待が増えることが危惧されます。ストレスの高い状況で苦しんでいる親子がいるかも分かりません。こうしたことが悲劇を生む前に、法務少年支援センター長野まで気軽に相談下さい。

(学校活動の紹介) 篠ノ井西小学校

学校だより (令和2年11月27日 臨時号) の記事から抜粋して紹介します

ゲーム・ネットから子どもたちを守ろう!

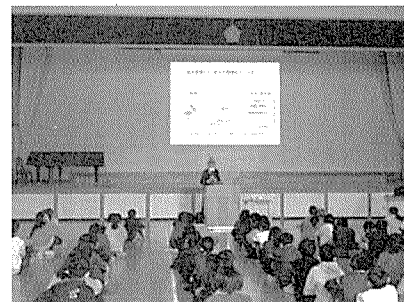
ー 3～6年生「ゲーム・ネットについての出前講座」開催ー

11月16日(月)に、長野市少年育成センターの先生方を講師に迎え「ゲーム・ネットについての出前講座」を行いました。以下にその内容をお伝えします。まず、大人がしっかりと知識を持ち、子どもたちがゲームやネットと上手につきあえるようにすることが大切です。ぜひ、各ご家庭でも話し合っ、ゲームやネット利用について見返しを行ってください。

5・6年生

1 スマホ…友だちと無料アプリをダウンロードして楽しむなど

- ・友だちとランキング争いをしているうちに、強くなるためのアイテムを集めるようになる。はじめは100円…150円…ランキングやスコア競争が過熱し、課金も増え、後から高額請求がくることになる。
- ・甘い言葉でIDやパスワードを聞かれ、答えることで、すべてのアイテムが消えたり、個人情報が出たりする。
- ・課金、値上がり、売買などのトラブルが多い。人から人への売買は違反。家族の一員としてお金を大事にする。
- ・夢中になりすぎない。
- ・インターネットの中でも普段の生活でもIDやパスワードは教えない。



2 SNS…リレートーク (LINE、ツイッターなど) で見えない相手とのやりとり

- ・相手は誰か分からないので返事をしてはいけない。
- ・ネットで知り合った人と会ってはいけない。
- ・むやみにSNSに写真(個人情報満載)を載せてはいけない。

3 被害に遭わないために大切なこと

- 断る。 ○おかしいと思ったら 大人(親や先生)に相談する。
- 一人でやってよい年齢を確認して守る。アプリは年齢制限がそれぞれ設けられている。
 - ・たとえばYouTube(13歳)、フォートナイト(日本では15歳、他国は17歳～18歳 ※国によって違う)
- ◇SNSに係る青少年の性被害届は年間2000件を超える(なかには生きて帰れなかった人もいる)。被害に遭ったが被害を公表したくない人は、その5倍いると言われている。

【子どもたちの感想】

- ・私は、やったことはないけれど、今日のお話が実際にあったことをもとにしていると聞いて、怖くなりました。
- ・課金を一回してしまうとお金の感覚が分からなくなってしまってたくさん使ってしまうことが分かりました。インターネットには、自分の写真や友だちが写っている写真も送信してはいけないことも分かりました。人にIDやパスワードを教えるのはいけないことが分かりました。これから気をつけたいと思いました。
- ・これからは、アプリに変なものが出てきても親に知らせるようにしたいと思います。
- ・おかしいと思ったら、はやくお母さんや先生に相談しようと思います。
- ・ゲーム依存症のひとつ、ゲーム中の暴言を実際の生活でもはいてしまうので気をつけたい。あと、今まで何歳からやっていかなかったかを見ないで使っていたので、これから見てやりたい。
- ・私は毎日ネットを見てネットに浸っている日ばかりなので、これからはやる時間を守って過ごしたい。
- ・「ルールを守っていない」で、ぼくはゲームを買う前に、ゲームの利用時間を決めたくて、守れない時があるので守るようにしたいと思った。インターネットはこわいなあ。

親同士で情報交換して、「犯罪に巻き込まれた」「依存症になってしまった」となる前に、手立てを講じることが大切だと感じました。心配なことがあれば学校や長野市少年育成センターへご相談ください。

篠ノ井西小学校 026-292-0084 長野市少年育成センター 026-228-8588

地区活動紹介

地域の目となって子供たちを守り育てる

篠ノ井地区少年育成委員会 会長 平井幸子

篠ノ井地区少年育成委員会は、各地区の代表40名で構成され、2年の任期で活動しています。活動の目的は「長野市青少年健全育成都市宣言」に基づき、子供たちが健全に成長することを願って、地域の目となり見守ることです。

委員になって最初に思うことは、具体的に何をやるかということです。委員会としてはイベントに合わせて巡回指導をします。また、公園、店舗などを地区別に巡回し、子供たちの様子を見守り、声をかけをします。注意、指導の必要な状況に遭遇した時、どのような対応をすべきでしょうか？そこで委員会が、最初にすることは研修会です。

私達は長野市の少年育成センターの先生に講演していただきます。対応の基本を学び、いろいろな角度から、子どもたちに迫る危険を察知する目を養うことができます。近年、子ども達は公園、店舗ではあまり見かけません。しかし、イベントには参加しています。また、SNS



育成会と一緒に どんど焼き

に夢中です。子供の行動心理を理解する必要があります。

当委員会は住民自治協議会に所属し、他団体と協力しあっています。その一つに歴史の会主催の「篠ノ井まちなか探訪会」に共催しています。毎年1回開催し、今年は10月4日に実施しました。コロナ禍で一般参加を募集せず、委員とそ

の家族のみで実施しました。歴史の会の方の説明で、今まで知らなかった篠ノ井のまちを知ることができました。「特に子供たちには篠ノ井の歴史を学んでほしい。篠ノ井のまちを好きになってほしい。」という歴史の会の皆さんの熱意が感じられます。委員は多くの皆さんの参加を呼びかけます。コースの中にとってもいい空間、リンゴ畑と住宅が混在している地区もありました。子供たちとい時間

間を過ごせました。また、学校行事や授業参観のお誘いがあります。委員が「子ども育成委員会」と合同で活動している地区もありますが、地元での委員会活動が少ないためか意外と知られていません。地区のイベントには委員会のユニフォームを着て子供たちと関わり、少年育成委員の活動を

● 活動内容

小中高から7名の先生方が専門委員に推薦され、家庭・地域学びの課より委嘱がされました。コロナ禍の影響でようやく二学期から活動が始まりました。例年より少ない年3回の委員会となりましたが、互いの学校現場の生徒指導上の事例に学び合い、保護観察所、少年鑑別所から派遣いただいた職員から示唆・指導を受けました。

今年にはコロナ禍で専門委員会の成果を発表する機会が持てませんでした。来年度は委員会の成果を学校現場の先生方に還元できる場を考えたいです。

● 委員会に参加して

委員

- ・ 現場の実践を持ち寄り、校種、職種が異なる先生方の協議が、互いの研鑽に役立ったと感じました。
- ・ 話し合われまとめられたものが、専門委員がいない学校に共有されないのは非常にもったいないと感じました。

● 保護観察所 少年鑑別所の方から

・ 現場の先生方の指導に当たる熱意が伝わってきました。親のフォローをどうするのか。これは学校以外、行政でもやっていかなくて

少年相談専門委員会の活動

はと考えます。

いろいろなと考えさせられました。言葉が、トラブル減少の鍵かと思えます。学校はいろんな問題に当たられていることがわかりました。

委員長

・ 協議することで深まっています。このような会に出させてもらってよかった。学校でも事例発表に学ぶ機会があります。ここでの活動で得たことが今後活かしていきたいよう努めたいです。

少年相談専門委員

- 委員長 塩澤 幸彦 (芹田 小)
- 副委員長 齋藤 貴寛 (大岡 中)
- 委員 小坂 和 (吉田 小)
- 菅井 茂則 (昭和 小)
- 小林 克年 (犀陵 中)
- 高野 勉 (市立長野中)
- 小根山 大河 (市立長野高)



「日少年育成委員の活動から」

コロナ感染防止対策を行った上で、小中高PTA役員の皆様中心に一般公募参加者の方と一緒に、長野駅、繁華街の巡回指導を体験してもらいました。

■実施日(各月第1土曜日)

7月4日、9月5日、10月3日、11月7日

有意義な活動です。「広報ながの」や市のホームページでも公募しています。関心のある方は是非ご参加ください。

参加者の感想から

本日は普段なかなかできない体験をさせていただきありがとうございました。

まず研修ビデオでは子どもを捕まえに行く気持ちではなく、いい会話をしに行きましょう。実際に巡回指導をしてみても、街で心配な子を見かけて声をかけようかなと思ったときにも役立つこと

で参考になりました。巡回は、コンビニ店、ゲーム店、商業集合ビル、量販店等に行きました。以前のゲームセンターのイメージよりは明るくオープンで安心しました。量販店の成人コーナーは子供のおもちゃやキャラクターグッズの隣にあり、配置をお店の方で考え直していただけたらなと思います。

南署管内の深夜徘徊が増えていることに驚きました。お祭りなどには校外指導で見回りなどするので、普段の様子

は知らなかったの、少しでも意識していただけたらよいPTAでも伝えていききたいと思います。(女性の参加者)



巡回指導前の研修会で

場への道は昼間でも少し怖い印象で、駐輪場は管理人さんが20時でいなくなるのと、20時以降は危なそうに感じました。

男子高校生に声をかけてみると、最初は警戒していましたが、話を進めていくうちに打ち解けてくれていろいろな話をしてくれました。量販店で2人の女の子に声をかけましたが危ない目にあつたことがないとのこと安心してました。(女性の参加者)

本日は貴重な機会を設けていただきありがとうございます。

テレビ等で夜回り先生は知っていたのですが、地域ごとにこういった活動をさせていらっしゃる方がいることは知りませんでした。巡回の仕方を研修DVDで見せていただいたことは、巡回指導でなくとも、街で心配な子を見かけて声をかけようかなと思ったときにも役立つこと

で参考になりました。巡回は、コンビニ店、ゲーム店、商業集合ビル、量販店等に行きました。以前のゲームセンターのイメージよりは明るくオープンで安心しました。量販店の成人コーナーは子供のおもちゃやキャラクターグッズの隣にあり、配置をお店の方で考え直していただけたらなと思います。

出前講座

活動内容

スマホやSNSなどネットに絡む犯罪やトラブルが続発しています。少年育成センターでは出前講座で学校や地域に伺い、『犯罪トラブルに巻き込まれない、依存に負けない情報機器との付き合い方』を授業や研修会で提案し一緒に考えています。

特徴

12月末までの開催講座		
	講座数	受講者
小学校	14	児童、保護者
中学校	3	生徒、保護者
特別支援学校	3	生徒、教員
住民自治協議会	3	地区育成委員

- ① 受講者に合うように講座の内容や流れを一緒に考えます
- ② 事前打ち合わせを大切にします
- ③ 視覚に訴え心に届く教材・資料を工夫します
- ④ 受講者の変容を大事に、次につながる授業・研修にします

教材DVDをお貸しします

授業、研修にご利用ください

- ① 親や先生が知らない子供防犯スクール「連れ去り・誘拐編」(24分)
「ネット・SNSトラブル編」(25分)
- ② 中学生の命と心を守る「防ごう!性のトラブル」(20分)
- ③ いじめの早期発見と対策シリーズ「保護者編」(26分)
- ④ スマホの安全な使い方教室「SNSのトラブルに」(23分)
- ⑤ 小学生のスマホの安全な使い方教室(全2巻、18、21分)
- ⑥ ★教員のための保護者対応力向上シリーズ(3巻、20、22分)
「保育園、幼稚園編」
「小学校編」
「中学校編」

★は新規購入DVDです。

申し込みは(少年育成センター)まで
電話 228-8547

編集後記

まるで私たち人間の結束力を試されているような新型コロナウイルス感染拡大です。なかなか収束の見通しが見えない中ですが、こんなときこそ気持ちは明るく強く持ち、互いに声かけ合い力を合わせピンチをチャンスに変えてまいりましょう。

最後に、今年度1年間皆様には当センターの事業に御理解と御協力を賜りました。心より御礼申し上げます。引き続き来年度もよろしく願っています。

少年相談活動

青少年に関わる相談を受け付けています。お気軽にご利用ください。ご心配は早期対応、早期相談です。

★困ったら困る前に★ 少年育成センター相談ダイヤルへ

電話 228-85888

月々金曜日 8時30分~17時15分

※匿名でけっこうです
来所の相談にも応じています